

1. 科目名（単位数）	文章表現Ⅲ（口頭発表表現）（4 単位）	3. 科目番号	GELA3307
2. 授業担当教員	宮田 繁幸		
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	通年（池袋・王子）
6. 履修条件・他科目との関係	文章表現Ⅱを履修済であること		
7. 講義概要	この授業では、自己紹介、自分の身近な問題から受講生がまとめたレポートなどの成果に至るまで、効果的にスピーチやプレゼンテーションをするための口頭表現を学び、実践的な情報発信力、コミュニケーション能力を養うためのトレーニングを進めていきます。 具体的には、自分の発表を聞き手に伝えるためには、どのような発表の「型」を取ることが適切なのか、発表資料や原稿の準備と発表を通して、実践的に訓練していきます。作成した発表資料などについては、ペアワーク、グループディスカッションを通して、受講生同士で検討していきます。その中で、発表に対する適切なコメントの仕方も練習していきます。 また、受講生のレベルに応じて、口頭表現の基礎となる日本語運用能力向上のための小テストも行います。		
8. 学習目標	1) 大学の学びの場で求められるさまざまな口頭表現の形式を理解し、自ら実践できるようになる。 2) 発表内容を適切な日本語の表現で伝えることができるようになる。 3) 発表内容に適した資料の作成ができるようになる。 4) 発表に対して、適切なコメントをできるようにする。 5) 適切な速さや大きさで、発表をすることが出来るようになる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	○事前・事後学習課題は各回の事前学習に指定された課題である。 ○授業後の提出物は、事前課題の提出や授業中使用したワークシートである。 ○自己PRスピーチ、ポスター発表、スライドを使用したプレゼンテーション1, 2, 3は発表原稿（もしくはポスター、スライド等）も評価対象とし、発表終了後に提出すること。 ○自己PRスピーチの詳細は教科書1のp.18を参照すること。 ○ポスター発表は4人程度のグループ発表をする。		
10. 教科書・参考書・教材	教科書】 1. 大島弥生、大場理恵子、岩田夏穂、池田玲子著 『ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション』ひつじ書房、2012。 2. 三浦香苗、岡澤孝雄、深澤のぞみ、ヒルマン小林恭子著 『アカデミックプレゼンテーション入門』ひつじ書房、2006。 【参考書】 中野美香著『大学生からのプレゼンテーション入門』ナカニシヤ出版、2012。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1) 大学の学びの場で求められるさまざまな口頭表現の形式を理解し、自ら実践できるようになったか。 2) 発表内容を適切な日本語の表現で伝えることができるようになったか。 3) 発表内容に適した資料の作成ができるようになったか。 4) 発表に対して、適切なコメントをできるようになったか。 5) 適切な速さや大きさで、発表をすることができるようになったか。 ○評定の方法：以下の点を総合して評価する。 1 授業への参加態度 総合点の30％ 2 試験（小テスト、口頭発表試験等） 総合点の40％ 3 提出課題 総合点の30％		
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業は事前学習を前提に行うため、必ず事前学習は行うこと。 2. 授業で扱ったすべてのプリント類はいつでも参照できるようまとめ、期末までなくさないこと。 3. スマートフォン・携帯電話の電源を切り授業に臨むこと。 4. 授業中の私語は決してしないこと。 5. 不明な点は、授業中または授業後に教員に質問すること。 6. 授業に際しては、どのようなことでもよいので積極的に意見を述べること。 7. 授業内容におけるページ番号は第1回から15回までは教科書1、16回以降は教科書2に該当する。 8. 授業の進行状況によりシラバスの進行が変更する場合がある。		
13. オフィスアワー	初回授業時に周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明	事前学習	教科書の目次とii～xまでを読み大切だと思うところと疑問に思うところに線を引いておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながらシラバスの重要点をノートにまとめる。
第2回	オリエンテーション(pp. 2-7)	事前学習	教科書の pp. 2～7 を読み教科書のワークシート1課のプレタスク、タスク1・2を完了する。また p. 7 の日本語エクササイズの答えも教科書に記入しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめる。

第 3 回	自己 PR①自分を伝える (pp. 8-13)	事前学習	pp. 8～13 を読み教科書の重要点に線を引き、ワークシート 2 課のプレタスク、タスク 1 を完了する。また日本語エクササイズ提出用シート 2 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特に役に立つ口頭発表表現をノートにまとめる。
第 4 回	自己 PR②情報を整理する (pp. 14-19)	事前学習	教科書 pp. 14～19 を読み重要点に線を引き、ワークシート 3 課のプレタスク、タスク 1 を完了する。また日本語エクササイズ提出用シート 3 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特に役に立つ口頭発表表現をノートにまとめる。
第 5 回	自己 PR③スピーチの準備をする (pp. 20-25)	事前学習	教科書 pp. 20～25 を読み教科書の重要点に線を引き、ワークシート 4 課のプレタスクを完了する。また日本語エクササイズ提出用シート 4 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特に自己 PR スピーチに関する口頭表現をノートにまとめる。
第 6 回	自己 PR④スピーチをする (pp. 26-29) : 自己 PR スピーチ	事前学習	自己 PR スピーチを何も見ずに話せるまで練習する。
		事後学習	教科書 pp. 26～29 を読み重要点に線を引く。またワークシート 5 課を使用しながら自己 PR スピーチを振り返り、良かったところと今後の改善点をノートにまとめる。
第 7 回	自己 PR スピーチの振り返り	事前学習	効果的な自己 PR スピーチの特徴をクラスでの良かったスピーチから考えノートに書いておく。
		事後学習	クラスでのディスカッションを参考にしながら効果的な自己 PR スピーチ実践のために必要だと思ふことをノートにまとめる。
第 8 回	自己 PR⑤志望動機書・学習（研究）計画書を読み合う (pp. 30-37)	事前学習	教科書 pp. 30～37 を読み重要点に線を引き、ワークシート 6 課のプレタスクとタスク 1 を完了する。また日本語エクササイズ提出用シート 6 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特に役に立つ口頭発表表現をノートにまとめる。
第 9 回	ブック・トーク ①情報を探す (pp. 40-45)	事前学習	教科書 pp. 40～45 を読み重要点に線を引き、ワークシート 7 課のプレタスクとタスク 1 を完了する。また日本語エクササイズ提出用シート 7 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特に役に立つ口頭発表表現をノートにまとめる。
第 10 回	ブック・トーク ②情報を読んで伝える (pp. 46-51)	事前学習	教科書 pp. 46～51 を読み重要点に線を引き、ワークシート 8 課①のプレタスクを完了する。また日本語エクササイズ提出用シート 8 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特に役に立つ口頭発表表現をノートにまとめる。
第 11 回	ブック・トーク③詳しいブック・トークをもとにアウトラインを書く (pp. 52-59)	事前学習	教科書 pp. 52～59 を読み重要点に線を引き、ワークシート 9 課のプレタスクとタスク 1・2 を完了する。また日本語エクササイズ提出用シート 9 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特に役に立つ口頭発表表現をノートにまとめる。
第 12 回	ブック・トーク④ポスター発表を準備する (pp. 60-65)	事前学習	教科書 pp. 60～65 を読み重要点に線を引き、ワークシート 10 課のプレタスクを完了し発表用ポスターのレイアウトを考えてくる。また日本語エクササイズ提出用シート 10 課を完了しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点、特にポスター発表をする上での役に立つ口頭発表表現をノートにまとめる。

第 1 3 回	ブック・トーク⑤発表する：ポスター発表 (pp. 66-71)	事前学習	ポスター発表での自分のパートについて何も見ずに話せるまで練習する。教科書 pp. 66～71 を読み重要点に線を引き、グループ全体での時間管理や役割分担を p. 66 のプレタスクで確認しておく。可能であればグループで事前練習を実施する。
		事後学習	ワークシート 1 1 課を完了し、自分のグループ発表と他のグループ発表について振り返る。
第 1 4 回	ポスター発表の振り返り	事前学習	効果的なグループ発表の特徴を一番良かったグループ発表から考えノートに記入しておく。
		事後学習	グループ討論とクラス全体での討論内容を参考にしながら効果的なグループ発表実践のために必要なことをノートにまとめる。
第 1 5 回	今までの口頭発表表現のまとめ、小テスト 1	事前学習	今まで学んだ口頭発表表現一覧を作成し、小テストに備える。
		事後学習	自分の作成した口頭発表表現一覧を必要に応じて加筆しまとめ直す。特に小テストでできなかった口頭発表表現はマークし何度も繰り返し覚える。
第 1 6 回	スライドを使ったプレゼンテーションの概要説明 (pp. 2-11)	事前学習	教科書 2 の概要とプレゼンテーションの概要について教科書 pp. 2～11 を読み、重要点に線を引く。スライドを使用したプレゼンテーションの特徴について自分なりに考えてくる。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめる。
第 1 7 回	プレゼンテーションに必要な表現① (pp. 12-31)	事前学習	教科書 pp. 12～31 を読み重要点に線を引き教科書の練習問題を完了する。プレゼンテーションの流れと関連の表現と数字や図表の説明に必要な表現をノートにまとめておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめる。
第 1 8 回	プレゼンテーションに必要な表現② (pp. 32-45)	事前学習	教科書 pp. 32～45 を読み重要点に線を引き教科書の練習問題を完了する。比較、引用、接続の表現と指示のことばをノートにまとめておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめる。
第 1 9 回	スライドの作成法 (pp. 47-54)	事前学習	教科書 pp. 47～54 を読み重要点に線を引きスライドの作成法をノートにまとめる。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめ直す。
第 2 0 回	プレゼンテーションにおける話し方と態度 (pp. 212-218)	事前学習	教科書 pp. 212～218 を読み重要点に線を引き「発音練習 1・2・3」を行う。
		事後学習	プレゼンテーションにおける話し方と態度で実践する上で難しいと思う点をノートにまとめる。
第 2 1 回	プレゼンテーション 1 の準備 (pp. 56-63)	事前学習	教科書 pp. 56～63 を読み重要点に線を引き、教科書の練習問題と p. 63 を完了しプレゼンテーション 1 の準備をする。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめ、スライド作成を始める。
第 2 2 回	プレゼンテーション 1 : 私の国	事前学習	プレゼンテーション 1 がスムーズにできるよう準備する。p. 221 を参考に発表の最終確認をする。
		事後学習	プレゼンテーション 1 の良かった点と改善点を自分なりに考えノートにまとめる。
第 2 3 回	プレゼンテーション 2 の準備	事前学習	プレゼンテーション 2 がスムーズにできるよう発表内容を整理しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめ、スライド作成を始める。
第 2 4 回	プレゼンテーション 2 : 私の町	事前学習	プレゼンテーション 2 がスムーズにできるよう準備し、発表の最終確認をする。
		事後学習	教員や友達からもらったコメントからわかった自分の話し方とスライドの使い方の良いところと改善点をノートにまとめる。
第 2 5 回	プレゼンテーション 3 の準備	事前学習	プレゼンテーション 2 がスムーズにできるよう発表内容を整理しておく。
		事後学習	教員が強調した点に気を付けながら重要点をノートにまとめ、次のスライド作成を始める。

第 2 6 回	プレゼンテーション 3 : 私の専門	事前学習	プレゼンテーション 2 がスムーズにできるよう準備し、発表の最終確認をする。
		事後学習	教員や友達からもらったコメントからわかった自分の話し方とスライドの使い方の良いところと改善点をノートにまとめる。
第 2 7 回	最終プレゼンテーションの準備①	事前学習	プレゼンテーション 1、2、3 の反省点などをあらためて確認しておく。
		事後学習	与えられた最終課題の中から、自分の行うプレゼンテーションの内容を考えまとめておく。
第 2 8 回	最終プレゼンテーションの準備②	事前学習	最終プレゼンテーションに必要な情報・データをあらかじめ調べておく。
		事後学習	最終プレゼンテーションで話す内容を原稿としてまとめる。
第 2 9 回	最終プレゼンテーションの準備③	事前学習	第 16 回～第 19 回の講義内容を振り返り、効果的なスライド作成の準備をする。
		事後学習	作成した発表用資料スライドを再確認し、最終プレゼンテーションのリハーサルをしておく。
第 3 0 回	最終プレゼンテーション	事前学習	最終プレゼンテーションのリハーサルを行い、原稿・スライドの最終チェックをしておく。
		事後学習	1 年間の講義内容を振り返り、身についたこと、まだ自分に足りない点などを整理する。